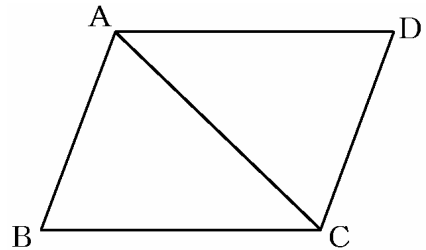


【】 平行四辺形の性質（向かい合う辺が等しい）

[問題]

次の図を使って，平行四辺形の2組の向かい合う辺はそれぞれ等しいことを証明せよ。



[解答]

ABCと CDAにおいて
ACは共通・・・

AD//BCなので，錯角が等しく $\angle BCA = \angle DAC$ ・・・

AB//DCなので，錯角が等しく $\angle BAC = \angle DCA$ ・・・

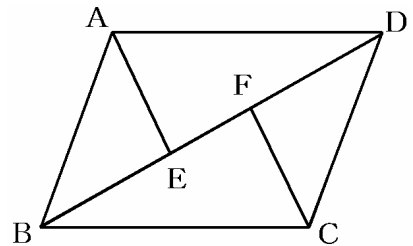
， ， より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABC \cong \triangle CDA$

$AB = CD, BC = DA$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線BDに垂線AE，CFをひくと， $AE = CF$ となることを証明せよ。



[解答]

ABEと CDFにおいて
四角形ABCDは平行四辺形なので $AB = CD$ ・・・

仮定より $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$ ・・・

AB//DC なので，錯角が等しく $\angle ABE = \angle CDF$ ・・・

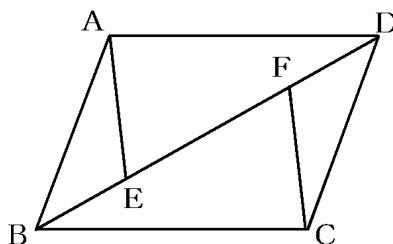
， ， より直角三角形の斜辺と他の1鋭角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABE \cong \triangle CDF$

$AE = CF$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線BD上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをとる。このとき、 $AE = CF$ であることを証明せよ。



[解答]

ABEと CDFにおいて

四角形ABCDは平行四辺形なので、 $AB = CD$ ・・・

仮定より $BE = DF$ ・・・

$AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle ABE = \angle CDF$ ・・・

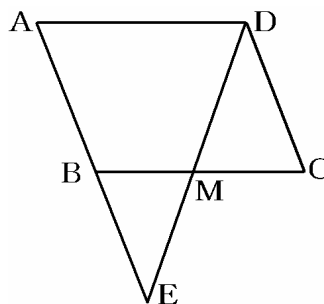
、 、 より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABE \cong \triangle CDF$

$AE = CF$

[問題]

平行四辺形ABCDの辺BCの中点をMとし、DとMを結ぶ直線と辺ABの延長との交点をEとすると、 $AB = BE$ となることを証明せよ。



[解答]

BEMと CDMにおいて

仮定より $BM = CM$ ・・・

対頂角は等しいので $\angle BME = \angle CMD$ ・・・

$AE \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle EBM = \angle DCM$ ・・・

、 、 より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$\triangle BEM \cong \triangle CDM$

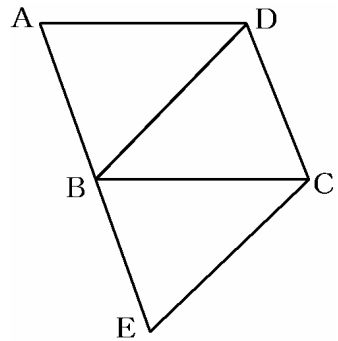
$BE = CD$

また、四角形ABCDは平行四辺形なので $CD = AB$

$AB = BE$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線DBに平行に、Cから直線をひいて、ABの延長との交点をEとすると、 $AB = BE$ となることを証明せよ。

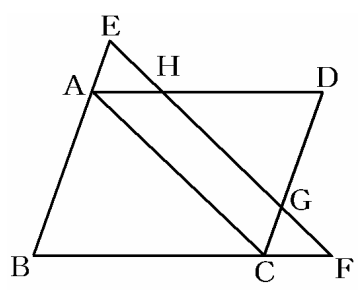


[解答]

DBCと ECBにおいて
BCは共通・・・
 $AE \parallel DC$ なので、錯角が等しく $DCB = ECB$ ・・・
また、 $BD \parallel EC$ なので、錯角が等しく $CBD = BCE$ ・・・
、 、 より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので
 $DBC \cong ECB$
 $BE = CD$
また、四角形ABCDは平行四辺形なので $CD = AB$
 $AB = BE$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線ACに平行な直線を図のようにかく。4辺AB、BC、CD、DAまたは、その延長と交わる点をそれぞれE、F、G、Hとすると、 $EH = GF$ である。これを証明せよ。

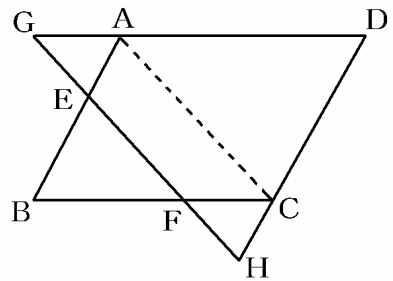


[解答]

AEHと CGFにおいて
仮定より $AH \parallel CF$ 、 $AC \parallel HF$ なので
四角形ACFHは平行四辺形となり、 $AH = CF$ ・・・
 $AD \parallel BF$ なので、同位角が等しく $AHE = CFG$ ・・・
また、 $AD \parallel BC$ なので 同位角が等しく $EAH = ABC$
 $AB \parallel CD$ なので、同位角が等しく $ABC = GCF$
 $EAH = GCF$ ・・・
、 、 より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので
 $AEH \cong CGF$ $EH = GF$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線ACに平行な直線が、AB、BCとE、Fで交わり、DA、DCの延長とG、Hで交わるとき、 $EG = HF$ であることを証明せよ。



[解答]

AEGと CHFにおいて

仮定より $AG \parallel CF$ 、 $AC \parallel GF$ なので四角形ACFGは平行四辺形となる。

$$AG = CF \dots$$

$AG \parallel CF$ なので、同位角が等しく $\angle AGE = \angle CFH \dots$

$AB \parallel DC$ なので、錯角が等しく $\angle GAE = \angle EBF = \angle FCH \dots$

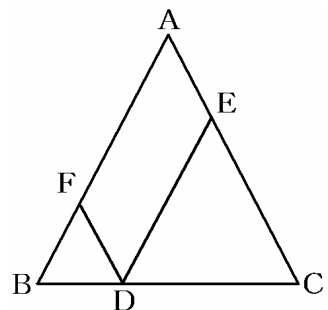
、 、 より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AEG \cong \triangle CHF$$

$$EG = HF$$

[問題]

次の図で、 $AB = AC$ で、ABとED、ACとFDはそれぞれ平行である。このとき、 $FD + DE = AB$ となることを証明せよ。



[解答]

仮定より $AB \parallel ED$ 、 $AC \parallel FD$ なので四角形AEDFは平行四辺形となる。

$$DE = FA \dots$$

仮定より $AB = AC$ なので、 $\angle FBD = \angle ECD$

$FD \parallel AC$ なので、同位角が等しく $\angle ECD = \angle FDB$

$\angle FBD = \angle FDB$ となり、 $\triangle FBD$ は二等辺三角形で、 $FD = FB \dots$

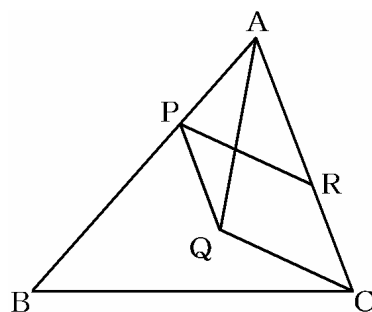
、 より $FD + DE = FB + FA = AB$

$$FD + DE = AB$$

[問題]

次の図のように、 $\triangle ABC$ の辺 AB 上の点 P から AC と平行になるようにひいた直線と $\angle BAC$ の二等分線との交点を Q とする。また、 P から QC と平行になるようにひいた直線と辺 AC との交点を R とする。

このとき、 $RC = PA$ であることを証明せよ。



[解答]

仮定より $PQ \parallel RC$, $PR \parallel QC$ なので、四角形 $PQCR$ は平行四辺形となる。

$$RC = PQ \dots$$

次に、 $PQ \parallel AC$ なので、錯角が等しく $\angle PQA = \angle RAQ$

仮定より $\angle RAQ = \angle PAQ$

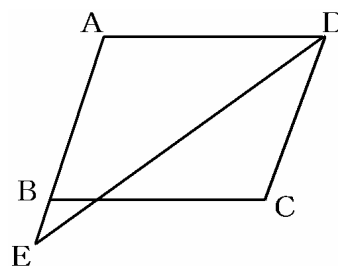
$\angle PQA = \angle PAQ$ となり、 $\triangle PAQ$ は二等辺三角形で、 $PQ = PA \dots$

よって、 $RC = PA$

【】 平行四辺形の性質 (向かい合う角が等しい)

[問題]

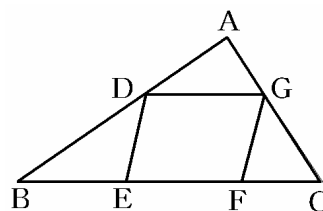
次の図で、四角形 $ABCD$ は平行四辺形で、 ED は $\angle ADC$ の二等分線である。 $\angle BED = 35^\circ$ のとき、 $\angle ABC$ の大きさを求めよ。



[解答] 70°

[問題]

次の図で、 $\triangle ABC$ は $\angle A = 90^\circ$ の直角三角形で、四角形 $DEFG$ は平行四辺形である。 $\angle BDE = 42^\circ$, $\angle ACB = 56^\circ$ のとき、 $\angle DGF$ の大きさを求めよ。

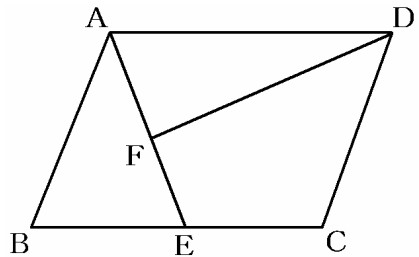


[解答] 76°

[問題]

次の図で、Eは平行四辺形ABCDの辺BC上の点で、
AB = AEである。また、Fは線分AE上の点であり、
AFD = 90°である。 ABE = 68°のとき CDFの大きさは何度か。

[解答]46°



[問題]

平行四辺形ABCDの対辺AD、BCの中点をそれぞれ
M、Nとすると、BM = DNであることを証明せよ。

[解答]

ABMと CDNにおいて

四角形ABCDは平行四辺形なので、AB = CD...

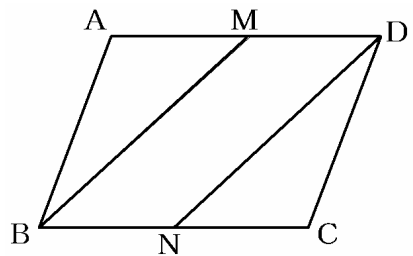
また、 $AM = \frac{1}{2} AD = \frac{1}{2} BC = CN$ で、AM = CN...

平行四辺形の向かい合う角は等しいので、BAM = DCN...

、 、 より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

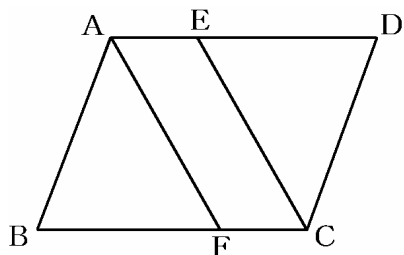
ABM ≅ CDN

BM = DN



[問題]

平行四辺形ABCDの対角 A , Cの2等分線が BC , ADと交わる点をそれぞれF , Eとすると ,
BF = DEとなることを証明せよ。



[解答]

ABFと CDEにおいて

四角形ABCDは平行四辺形なので , AB = CD...

$$ABF = CDE \dots$$

仮定より $\angle BAF = \frac{1}{2} \angle BAD$, $\angle DCE = \frac{1}{2} \angle DCB$

$\angle BAD = \angle DCB$ なので , $\angle BAF = \angle DCE \dots$

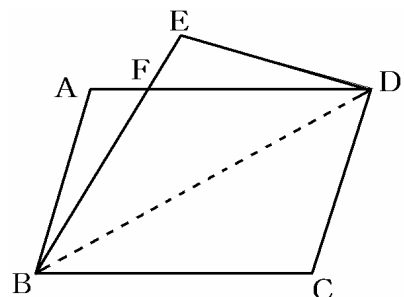
, , より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$ABF \cong CDE$$

$$BF = DE$$

[問題]

次の図のように , 平行四辺形ABCDを対角線BDを折り目として折り返し , 頂点Cが移る点をE , BEとADの交点をFとする。このとき , FA = FEとなることを証明せよ。



[解答]

仮定より $\angle FBD = \angle CBD$

AD//BCなので , 錯角が等しく $\angle CBD = \angle FDB$

$\angle FBD = \angle FDB$ となり , $\triangle FBD$ は二等辺三角形で , $FD = FB \dots$

四角形ABCDは平行四辺形なので , $AD = BC$

また , $BC = BE$

$$AD = BE \dots$$

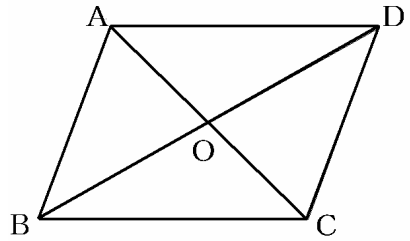
$$FA = AD - FD , FE = BE - FB$$

, より $FA = FE$

【】平行四辺形の性質（対角線はそれぞれ中点で交わる）

[問題]

次の図を使って、平行四辺形の2つの対角線はおのおの中点で交わることを証明せよ。



[解答]

ABOと CDOにおいて

四角形ABCDは平行四辺形なので、 $AB = CD \cdots$

$AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle BAO = \angle DCO \cdots$

$$\angle ABO = \angle CDO \cdots$$

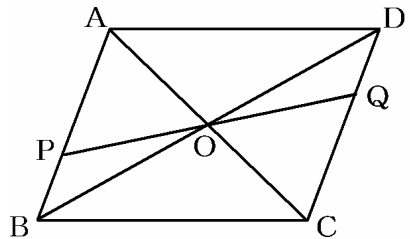
, , より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABO \cong \triangle CDO$$

$$AO = CO, BO = DO$$

[問題]

平行四辺形ABCDで、対角線の交点Oを通る直線をひき、対辺AB, CDとの交点を、それぞれP, Qとする。このとき、 $OP = OQ$ であることを証明せよ。



[解答]

BPOと DQOにおいて

平行四辺形の対角線はたがいに中点で交わるので、 $BO = DO \cdots$

対頂角は等しいので、 $\angle BOP = \angle DOQ \cdots$

$AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle PBO = \angle QDO \cdots$

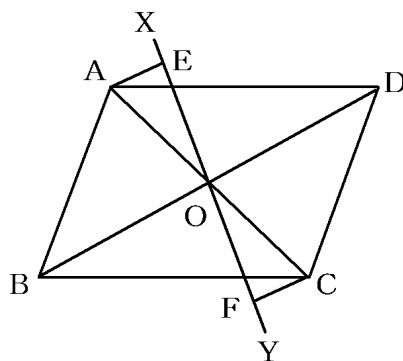
, , より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle BPO \cong \triangle DQO$$

$$OP = OQ$$

[問題]

平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとする。Oを通る直線XYに、頂点A, Cから垂線AE, CFをひくと、 $AE = CF$ であることを証明せよ。



[解答]

AEOと CFOにおいて

仮定より $\angle AEO = \angle CFO = 90^\circ \dots$

平行四辺形の対角線はたがいに中点で交わるので、

$AO = CO \dots$

対頂角は等しいので、 $\angle AOE = \angle COF \dots$

, , より直角三角形の斜辺と他の1鋭角がそれぞれ等しいので

$\triangle AEO \cong \triangle CFO$

$AE = CF$

【】平行四辺形の性質 (その他)

[問題]

平行四辺形ABCDで、Bの2等分線が辺AD, CDの延長と交わる点を、それぞれE, Fとすると、次のことを証明せよ。

1) $AB = AE$

2) $CB = CF$

[解答]

1) 仮定より $\angle ABE = \angle CBE$

$AD \parallel BC$ なので、錯角が等しく $\angle CBE = \angle AEB$

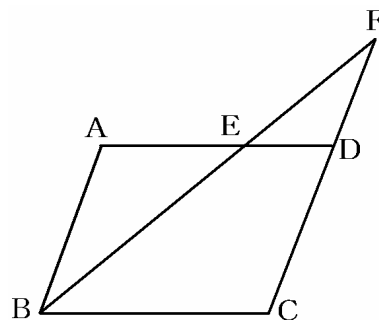
$\angle ABE = \angle AEB$

ABEは二等辺三角形となり、 $AB = AE$

2) $AB \parallel CF$ なので、錯角が等しく $\angle ABE = \angle CFB$

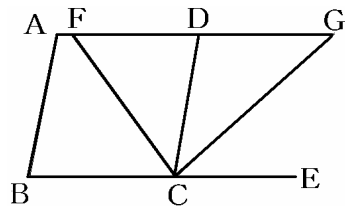
$\angle ABE = \angle CBF$ なので、 $\angle CFB = \angle CBF$

CBFは二等辺三角形となり、 $CB = CF$



[問題]

次の図のように、平行四辺形ABCDの辺BCをのばした直線上に点Eをとり、 $\angle DCB$ の二等分線と $\angle DCE$ の二等分線とが、直線ADと交わる点を、それぞれF、Gとすると、 $DF = DG$ であることを証明せよ。



[解答]

AD//BCなので、錯角が等しく $\angle DFC = \angle BCF$

仮定より $\angle BCF = \angle DCF$

$\angle DFC = \angle DCF$ となり $\triangle DFC$ は二等辺三角形になる。

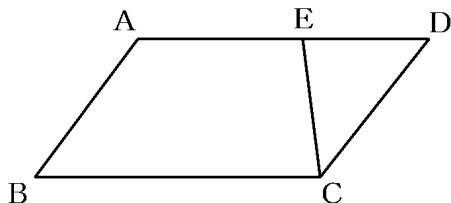
$DF = DC$

同様にして $DC = DG$

$DF = DG$

[問題]

次の図のような平行四辺形ABCDの辺AD上に、 $\angle ECD = \angle ABC$ となるように点Eをとる。このとき、 $AE + EC = BC$ となることを証明せよ。



[解答]

四角形ABCDは平行四辺形なので、向かい合う角が等しく $\angle CDE = \angle ABC$

仮定より $\angle ABC = \angle ECD$

$\angle CDE = \angle ECD$ となり $\triangle ECD$ は二等辺三角形

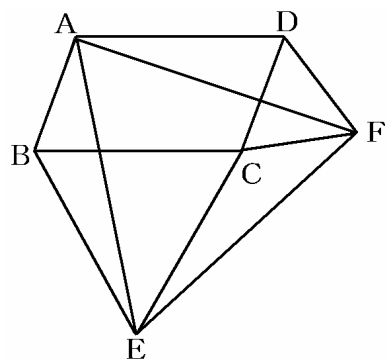
$EC = ED$

$AE + EC = AE + ED = AD = BC$

$AE + EC = BC$

[問題]

平行四辺形ABCDの2辺BC, CDをそれぞれ1辺とする正三角形BEC, CFDを次の図のようにつくる時、次のことを証明せよ。



1) $\angle ABE = \angle FDA = \angle FCE$

2) $\triangle AEF$ は正三角形である。

[解答]

1) $\angle ABC = x$ とおく。

$\triangle BEC$, $\triangle CFD$ は正三角形なので、

$$\angle ABE = x + 60^\circ$$

$$\angle FDA = x + 60^\circ$$

次に、 $\angle BCD = 180^\circ - x$ なので

$$\begin{aligned} \angle FCE &= 360^\circ - \angle BCD - 60^\circ - 60^\circ \\ &= 360^\circ - (180^\circ - x) - 120^\circ = 60^\circ + x \end{aligned}$$

以上より、 $\angle ABE = \angle FDA = \angle FCE$

2) $\triangle ABE$ と $\triangle FDA$ において

$\triangle BEC$, $\triangle CFD$ は正三角形なので、 $DF = DC$

四角形ABCDは平行四辺形なので、 $DC = AB$

$$AB = DF \dots$$

同様に、 $AD = BC$, $BC = BE$ なので $AD = BE \dots$

1)より $\angle FDA = \angle ABE \dots$

, , より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABE \cong \triangle FDA \text{となり, } AE = AF \dots$$

次に、 $\triangle FDA$ と $\triangle FCE$ において

$\triangle CFD$ は正三角形なので、 $DF = CF \dots$

$CE = CB$, $CB = DA$ なので $DA = CE \dots$

1)より $\angle FDA = \angle FCE \dots$

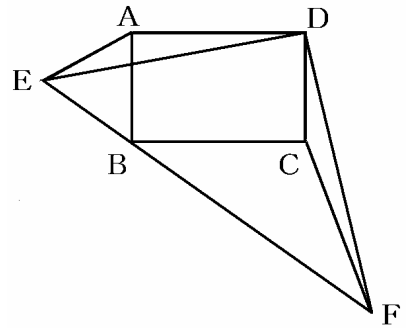
, , より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle FDA \cong \triangle FCE \text{となり, } AF = EF \dots$$

, より $AE = EF = AF$ となり、 $\triangle AEF$ は正三角形になる。

[問題]

次の図のように、長方形ABCDの頂点Bを通る直線上に、2点E, Fを $AB = AE$, $BC = CF$ となるようにとる。このとき、 $ED = DF$ となることを証明せよ。



[解答]

AEDと CDFにおいて

仮定より $AE = AB$

四角形ABCDは長方形なので、 $AB = CD$

$AE = CD \dots$

同様にして、 $AD = BC$, $BC = CF$ なので $AD = CF \dots$

次に、 $\angle ABE = x$ とおく。

$AB = AE$ なので $\angle AEB = \angle ABE = x$

$$\angle EAB = 180^\circ - 2x$$

$$\angle EAD = 180^\circ - 2x + 90^\circ = 270^\circ - 2x \dots$$

また、 $\angle ABE = x$ なので、 $\angle CBF = 180^\circ - 90^\circ - x = 90^\circ - x$

$BC = CF$ なので、 $\angle CFB = \angle CBF = 90^\circ - x$

$$\angle BCF = 180^\circ - (90^\circ - x) \times 2 = 2x$$

$$\angle DCF = 360^\circ - 90^\circ - 2x = 270^\circ - 2x \dots$$

, より $\angle EAD = \angle DCF \dots$

, , より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$\triangle AED \cong \triangle CDF$

$ED = DF$

【】平行四辺形になる条件（向かい合う2組の辺が等しい）

[問題]

次の図において、 $AB = CD$ 、 $BC = DA$ ならば、四角形ABCDは平行四辺形になることを証明せよ。

[解答]

ABCと CDAにおいて

ACは共通・・・

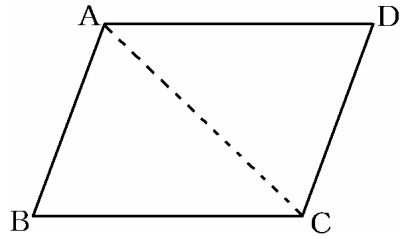
仮定より $AB = CD$ ・・・， $BC = DA$ ・・・

3辺が等しいので， $\triangle ABC \cong \triangle CDA$

$\angle BCA = \angle DAC$ で，錯角が等しいので $AD \parallel BC$

$\angle BAC = \angle DCA$ で，錯角が等しいので $AB \parallel DC$

向かい合う2組の辺が平行なので，四角形ABCDは平行四辺形になる



[問題]

平行四辺形ABCDの辺AB，BC，CD，DA上にそれぞれ点P，Q，R，Sをとり， $AP = CR$ ， $BQ = DS$ となるようにすれば，四角形PQRSは平行四辺形になることを証明せよ。

[解答]

APSと CRQにおいて

仮定より $AP = CR$ ・・・

平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので $AD = CB$

仮定より $DS = BQ$ なので

$AS = AD - DS = CB - BQ = CQ$

$AS = CQ$ ・・・

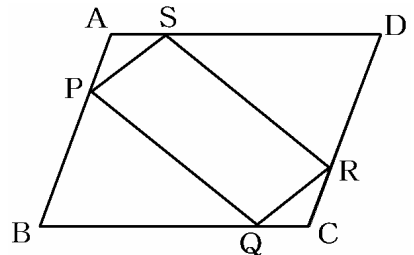
平行四辺形の向かい合う角の大きさは等しいので， $\angle PAS = \angle RCQ$ ・・・

， ， より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので， $\triangle APS \cong \triangle CRQ$

$PS = RQ$

同様にして， $\triangle BPQ \cong \triangle DRS$ となり， $PQ = RS$

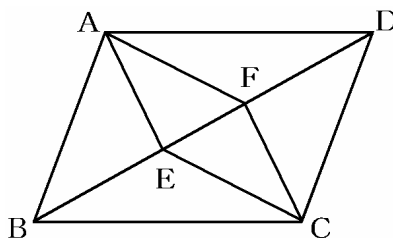
向かい合う2組の辺の長さが等しいので，四角形PQRSは平行四辺形になる。



[問題]

平行四辺形ABCDの頂点A, Cから対角線BDへ垂線をひき、その交点をそれぞれE, Fとすると。

- 1) $\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ が合同になることを証明せよ。
- 2) 四角形AECFが平行四辺形になることを証明せよ。



[解答]

- 1) $\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において

平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので、 $AB = CD \cdots$

$AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle ABE = \angle CDF \cdots$

仮定より $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ \cdots$

, , より直角三角形の斜辺と他の1鋭角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABE \cong \triangle CDF$$

- 2) $\triangle AFD$ と $\triangle CEB$ において

平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので、 $AD = CB \cdots$

1)より $\triangle ABE \cong \triangle CDF$ なので $DF = BE \cdots$

$AD \parallel BC$ なので、錯角が等しく $\angle ADF = \angle CBE \cdots$

, , より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AFD \cong \triangle CEB$$

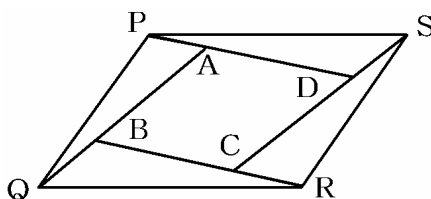
$$AF = CE$$

また、1) より $\triangle ABE \cong \triangle CDF$ なので $AE = CF$

向かい合う2組の辺の長さが等しいので、四角形AECFは平行四辺形になる。

[問題]

次の図のように，平行四辺形ABCDの各辺の延長線上に，それぞれP，Q，R，Sをとり， $AP = BQ = CR = DS$ とすれば，四角形PQRSは平行四辺形であることを証明せよ。



[解答]

PDSと RBQにおいて

仮定より $DS = BQ$...

四角形ABCDは平行四辺形なので， $AD = CB$

また， $PA = RC$ なので， $PD = RB$...

平行四辺形の向かい合う角は等しいので， $\angle ADC = \angle CBA$

$$\angle PDS = 180^\circ - \angle ADC = 180^\circ - \angle CBA = \angle RBQ$$

$$\angle PDS = \angle RBQ$$

， ， より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle PDS \cong \triangle RBQ \quad PS = RQ$$

以上と同様にして， $\triangle QAP \cong \triangle SCR$ となり， $PQ = RS$...

， より向かい合う2組の辺の長さが等しいので，四角形PQRSは平行四辺形になる。

【】平行四辺形になる条件（向かい合う1組の辺が平行で等しい）

[問題]

次の図において，ADとBCが平行で等しいならば，四角形ABCDは平行四辺形になることを証明せよ。

[解答]

ABCと CDAにおいて

ACは共通...

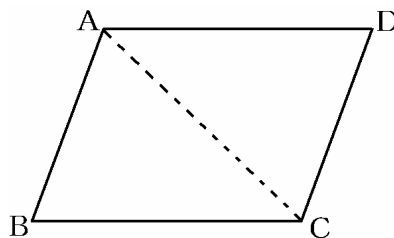
仮定より $BC = DA$...

$AD \parallel BC$ なので，錯角が等しく $\angle BCA = \angle DAC$...

， ， より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABC \cong \triangle CDA \quad AB = CD$$

向かい合う2組の辺の長さが等しいので，四角形ABCDは平行四辺形になる。



[問題]

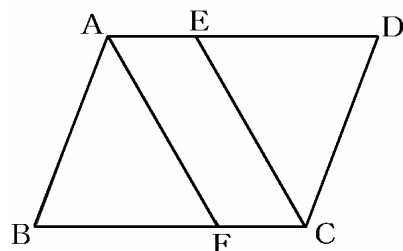
平行四角形ABCDの対辺AD, BC上にそれぞれ点E, Fを $AE = CF$ となるようにとる。このとき, 四角形AFCEは平行四角形であることを証明せよ。

[解答]

四角形ABCDは平行四角形なので, $AE \parallel FC$

仮定より $AE = FC$

1組の辺が平行で等しいので, 四角形AFCEは平行四角形である。



[問題]

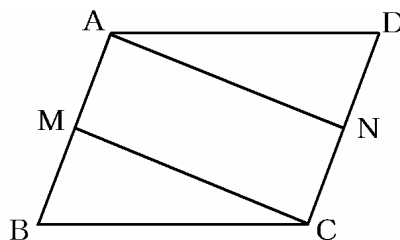
平行四角形ABCDの対辺AB, DCの中点を, それぞれM, Nとするとき, 四角形AMCNは平行四角形であることを証明せよ。

[解答]

四角形ABCDは平行四角形なので, $AM \parallel NC$

$AB = DC$, $AM = \frac{1}{2} AB$, $NC = \frac{1}{2} DC$ なので $AM = NC$

1組の辺が平行で等しいので, 四角形AMCNは平行四角形である。



[問題]

平行四角形ABCDの対辺AD, BCの中点をそれぞれM, Nとするとき, 四角形PNQMは平行四角形であることを証明せよ。

[解答]

四角形AMCNについて

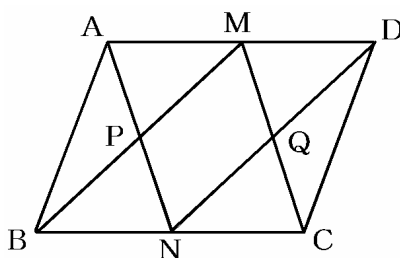
四角形ABCDは平行四角形なので, $AM \parallel NC$

$AD = BC$, $AM = \frac{1}{2} AD$, $NC = \frac{1}{2} BC$ なので $AM = NC$

1組の辺が平行で等しいので, 四角形AMCNは平行四角形である。 $PN \parallel MQ$

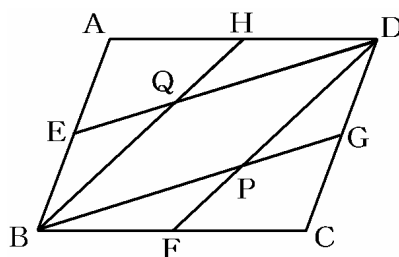
同様にして, 四角形BNDMは平行四角形で $MP \parallel QN$

2組の辺が平行なので四角形PNQMは平行四角形である。



[問題]

平行四角形ABCDの各辺の中点を、E、F、G、Hとし、BGとDFの交点をP、BHとDEの交点をQとすると、四角形BPDQは平行四角形になることを証明せよ。



[解答]

四角形BFDHについて

四角形ABCDは平行四角形なので、 $HD \parallel BF$

$$AD = BC, HD = \frac{1}{2} AD, BF = \frac{1}{2} BC \text{ なので、} HD = BF$$

1組の辺が平行で等しいので、四角形BFDHは平行四角形である。

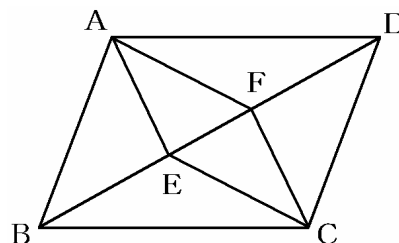
$BQ \parallel PD$

同様に、四角形BGDEは平行四角形となり、 $BP \parallel QD$

2組の辺が平行なので四角形BPDQは平行四角形である。

[問題]

平行四角形ABCDの頂点A、Cから対角線BDへ垂線をひき、その交点をそれぞれE、Fとすると、四角形AECFは平行四角形になることを証明せよ。



[解答]

ABEと CDFにおいて

四角形ABCDは平行四角形なので、 $AB = CD \dots$

$AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle ABE = \angle CDF \dots$

仮定より $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ \dots$

、 、 より、直角三角形の斜辺と他の1鋭角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle ABE \cong \triangle CDF$$

$$AE = CF$$

また、 $\angle AEF = \angle CFE = 90^\circ$ なので、錯角が等しく $AE \parallel CF$

1組の辺が平行で等しいので、四角形AECFは平行四角形である。

[問題]

台形ABCDにおいて、対角線ACの中点をPとし、DPの延長とBCの交点をEとするとき、四角形AECDは平行四辺形であることを証明せよ。

[解答]

ADPと CEPにおいて

仮定より $AP = CP \cdots$

対頂角は等しいので $\angle APD = \angle CPE \cdots$

AD//BCなので、錯角が等しく $\angle DAP = \angle ECP \cdots$

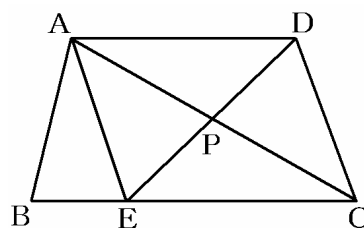
、 、 より1辺と両端の角がそれぞれ等しいので、

$\triangle ADP \cong \triangle CEP$

$AD = CE$

また、AD//CE

1組の辺が平行で等しいので、四角形AECDは平行四辺形である。



【】平行四辺形になる条件（対角線がそれぞれ中点で交わる）

[問題]

次の図で、 $AO = CO$ 、 $BO = DO$ であるとき、四角形ABCDは平行四辺形になることを証明せよ。

[解答]

ABOと CDOにおいて

仮定より $AO = CO \cdots$

$BO = DO \cdots$

対頂角は等しいので、 $\angle AOB = \angle COD \cdots$

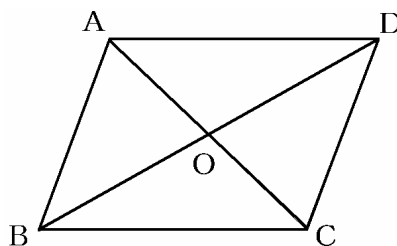
、 、 より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABO \cong \triangle CDO$

$AB = CD$

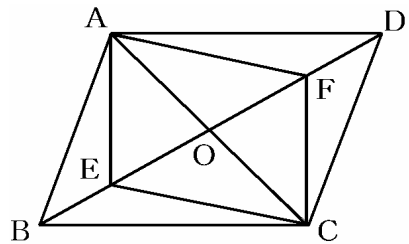
$\angle OAB = \angle OCD$ なので、錯角が等しく $AB \parallel CD$

1組の辺が平行で等しいので、四角形ABCDは平行四辺形になる。



[問題]

平行四角形ABCDの2つの対角線の交点をOとし、対角線BD上に点E, Fを $OE = OF$ となるようにとる。このとき、四角形AECFは平行四角形であることを証明せよ。



[解答]

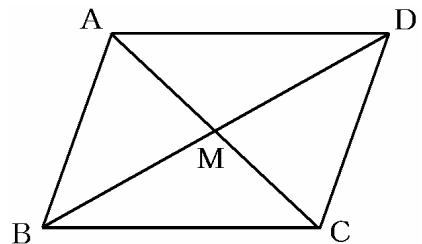
四角形ABCDは平行四角形なので、 $OA = OC$

仮定より $OE = OF$

対角線がそれぞれ中点で交わるので、四角形AECFは平行四角形となる。

[問題]

次の図のような $\triangle ABC$ で、点Bと辺ACの中点Mを結んだ直線と、点Cを通りBAに平行にひいた直線との交点をDとする。このとき、四角形ABCDが平行四角形になることを証明せよ。



[解答]

ABMと CDMにおいて

仮定より $AM = CM$...

対頂角は等しいので、 $\angle AMB = \angle CMD$...

仮定より $AB \parallel CD$ なので、錯角が等しく $\angle BAM = \angle DCM$

, , より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

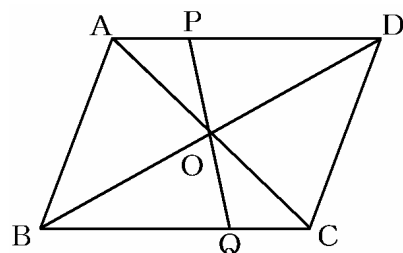
$ABM \cong CDM$

$BM = DM$...

, より対角線がそれぞれ中点で交わるので、四角形ABCDは平行四角形となる。

[問題]

平行四角形ABCDの対角線の交点Oを通過して、次の図のように直線PQをひくと、四角形PBQDは平行四角形になることを証明せよ。



[解答]

APOと CQOにおいて

四角形ABCDは平行四角形なので、 $AO = CO$...

対頂角は等しいので、 $\angle AOP = \angle COQ$...

$AD \parallel BC$ なので、錯角が等しく $\angle PAO = \angle QCO$...

よって、より1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$\triangle APO \cong \triangle CQO$

$PO = QO$

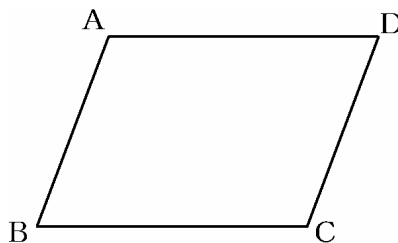
また、四角形ABCDは平行四角形なので $DO = BO$

対角線がそれぞれ中点で交わるので、四角形PBQDは平行四角形となる。

【】 平行四角形になる条件 (向かい合う2組の角が等しい)

[問題]

次の図で、 $\angle A = \angle C$ 、 $\angle B = \angle D$ であるとき、四角形ABCDは平行四角形になることを証明せよ。



[解答]

四角形の内角の和は 360° なので

$$\angle A + \angle B + \angle C + \angle D = 360^\circ$$

仮定より、 $\angle A = \angle C$ 、 $\angle B = \angle D$

$$2\angle A + 2\angle B = 360^\circ \quad \angle A + \angle B = 180^\circ$$

ここで、BAの延長線上に点Eをとる

$$\angle ABC + \angle BAD = 180^\circ, \quad \angle EAD + \angle BAD = 180^\circ \text{ なので}$$

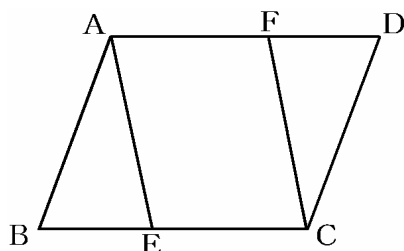
$$\angle ABC = \angle EAD \text{ となり、同位角が等しいので } AD \parallel BC$$

また、 $\angle EAD = \angle ADC$ なので、錯角が等しく $AB \parallel DC$

2組の向かい合う辺が平行なので四角形ABCDは平行四角形になる。

[問題]

次の図の平行四辺形ABCDで $\angle AEB = \angle CFD$ とすると、四角形AECFは平行四辺形になることを証明せよ。



[解答]

AD//BCなので $\angle AEB = \angle EAF$

$$\angle CFD = \angle ECF$$

仮定より $\angle AEB = \angle CFD$ なので、 $\angle EAF = \angle ECF \dots$

$$\angle AFC = 180^\circ - \angle CFD$$

$$\angle AEC = 180^\circ - \angle AEB$$

仮定より $\angle AEB = \angle CFD$ なので、 $\angle AFC = \angle AEC \dots$

、より向かい合う2組の角が等しいので

四角形AECFは平行四辺形になる。

[問題]

平行四辺形ABCDの対角 $\angle A$ 、 $\angle C$ の2等分線がBC、ADと交わる点をそれぞれF、Eとするとき、四角形AFCEは平行四辺形であることを証明せよ。

[解答]

四角形ABCDは平行四辺形なので向かい合う角は等しく

$$\angle BAD = \angle BCD$$

仮定より、 $\angle EAF = \frac{1}{2} \angle BAD$ 、 $\angle ECF = \frac{1}{2} \angle BCD$

$$\angle EAF = \angle ECF \dots$$

また、AD//BCなので、 $\angle BFA = \angle EAF$ 、 $\angle DEC = \angle ECF$

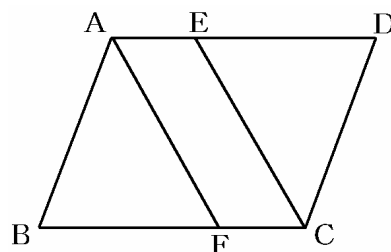
$$\angle BFA = \angle DEC$$

$$\angle CFA = 180^\circ - \angle BFA$$

$$\angle AEC = 180^\circ - \angle DEC$$

$$\angle CFA = \angle AEC \dots$$

、より向かい合う2組の角が等しいので四角形AFCEは平行四辺形になる。



【】長方形

[問題]

長方形は平行四辺形でもあることを証明せよ。

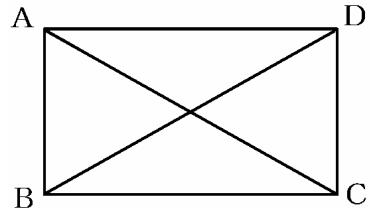
[解答]

長方形の定義より，4つの内角はすべて等しい。

向かい合う2組の角は等しくなるので，平行四辺形となる。

[問題]

次の図を使って，長方形の対角線の長さが等しいことを証明せよ。



[解答]

ABCと DCBにおいて

BCは共通・・・

四角形ABCDは長方形なので， $\angle ABC = \angle DCB = 90^\circ$ ・・・

$$AB = DC \dots$$

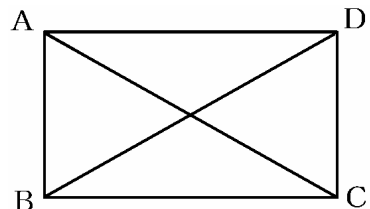
， ， より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ABC \cong \triangle DCB$$

$$AC = DB$$

[問題]

次の図を使って，対角線の長さが等しい平行四辺形は長方形であることを証明せよ。



[解答]

ABCと DCBにおいて

BCは共通・・・

仮定より $AC = DB$ ・・・

平行四辺形の向かい合う角は等しいので， $\angle ABC = \angle DCB$ ・・・

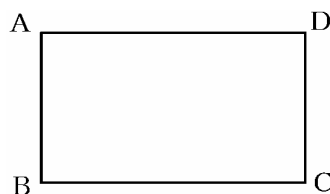
， ， より3辺がそれぞれ等しいので， $\triangle ABC \cong \triangle DCB$

$\angle ABC = \angle DCB$ ，さらに $\angle ABC = \angle ADC$ ， $\angle BAD = \angle DCB$ なので

4つの内角がすべて等しい。 四角形ABCDは長方形となる。

[問題]

1つの角が直角である平行四辺形は長方形であることを証明せよ。



[解答]

$A = 90^\circ$ と仮定する。

平行四辺形の向かい合う角は等しいので、 $C = A = 90^\circ$

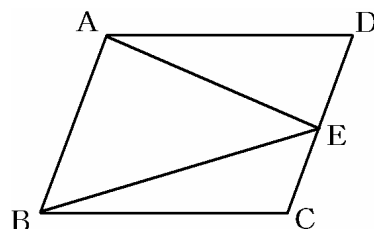
$$B + D = 360^\circ - (A + C) = 360^\circ - 180^\circ = 180^\circ$$

$B = D$ なので、 $B = D = 90^\circ$

$A = B = C = D = 90^\circ$ となり、四角形ABCDは長方形となる。

[問題]

平行四辺形ABCDの辺DCの中点をEとするとき、
 $AE = BE$ ならば、この四角形ABCDは長方形になることを証明せよ。



[解答]

ADEと BCEにおいて

仮定より $AE = BE$...

$$DE = CE \dots$$

平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので、 $AD = BC$...

, , より3辺がそれぞれ等しいので

$$\triangle ADE \cong \triangle BCE$$

$$\angle ADE = \angle BCE$$

平行四辺形の向かい合う角は等しいので、 $\angle ADE = \angle ABC$, $\angle ECB = \angle BAD$

4つの内角がすべて等しくなり、四角形ABCDは長方形となる。

[問題]

平行四辺形ABCDの4つの角の二等分線で囲まれた四角形は長方形になる。このことを証明せよ。

[解答]

$BAE = x$, $ABE = y$ とおくと ,

仮定より , $DAE = DCG = BCG = x$

$CBE = ADG = CDG = y$

四角形の内角の和は 360° なので , $4x + 4y = 360^\circ$ $x + y = 90^\circ$

$HEF = AEB = 180^\circ - (BAE + ABE) = 180^\circ - (x + y) = 90^\circ$

同様にして , $FGH = 90^\circ$

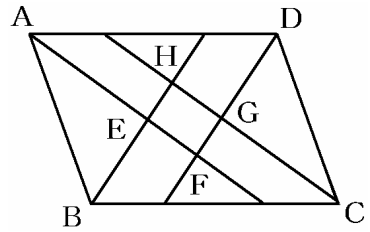
また , AFD について

$AFD = 180^\circ - (FAD + FDA) = 180^\circ - (x + y) = 90^\circ$

同様にして , $BHC = 90^\circ$

以上より四角形EFGHの内角はすべて 90° で等しくなる。

四角形EFGHは長方形となる。



【】ひし形

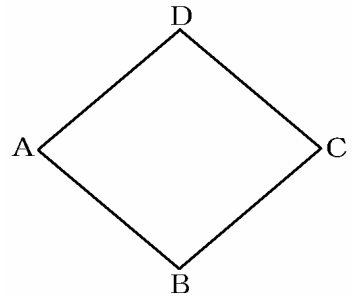
[問題]

ひし形は平行四辺形でもあることを証明せよ。

[解答]

ひし形ABCDにおいて4辺がすべて等しいので、
 $AB = DC$, $AD = BC$

向かい合う2組の辺の長さが等しいので、
ひし形ABCDは平行四辺形となる。



[問題]

次の図を使って、ひし形の対角線が垂直に交わることを証明せよ。

[解答]

ADHと CDHにおいて

DHは共通・・・

四角形ABCDはひし形なので、 $AD = CD$ ・・・

また、ひし形は平行四辺形でもあるので、 $AH = CH$ ・・・

3つの辺がそれぞれ等しいので

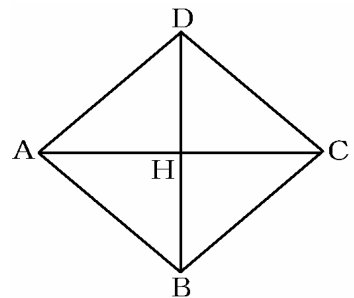
$$\triangle ADH \cong \triangle CDH$$

$$\angle AHD = \angle CHD$$

また、 $\angle AHD + \angle CHD = 180^\circ$

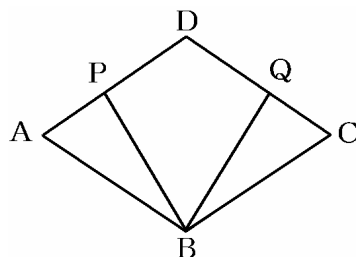
$$\angle AHD = \angle CHD = 90^\circ$$

AC ⊥ DH



[問題]

ひし形ABCDの頂点BからAD, CDにひいた垂線を, それぞれBP, BQとするとき, $BP = BQ$ であることを証明せよ。



[解答]

ABPと CBQにおいて

四角形ABCDはひし形なので, $AB = CB$...

ひし形は平行四辺形でもあるので, 向かい合う内角が等しく

$\angle BAP = \angle BCQ$...

仮定より $\angle APB = \angle CQB = 90^\circ$...

, , より直角三角形の斜辺と他の1鋭角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABP \cong \triangle CBQ$

$BP = BQ$

[問題]

次の図を使って, 対角線が垂直に交わる平行四辺形はひし形になることを証明せよ。

[解答]

ABOと ADOにおいて

AOは共通...

平行四辺形の対角線はたがいに中点で交わるので, $BO = DO$...

仮定より $\angle AOB = \angle AOD$...

, , より2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABO \cong \triangle ADO$

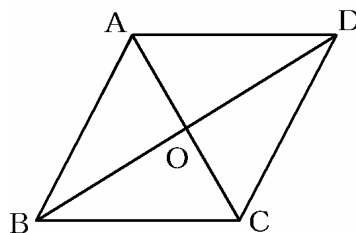
$AB = AD$...

平行四辺形の向かい合う辺は等しいので,

$AB = CD, AD = BC$...

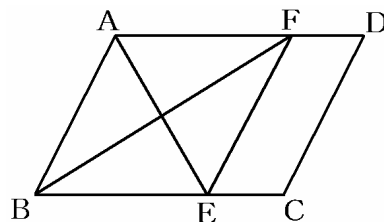
, より $AB = BC = CD = DA$

四角形ABCDはひし形となる。



[問題]

平行四角形ABCDの A, Bの二等分線が辺BC, ADと交わる点をそれぞれE, Fとするとき, 四角形ABEFはひし形になることを証明せよ。



[解答]

AEとBFの交点をHとする。

ABHと AFHにおいて

AHは共通・・・

仮定より $\angle BAH = \angle FAH$ ・・・

また, 仮定より $\angle ABH = \angle EBH$

AF//BEなので, 錯角が等しく $\angle EBH = \angle AFH$

$\angle ABH = \angle AFH$ ・・・

, により

$\angle AHB = 180^\circ - (\angle BAH + \angle ABH) = 180^\circ - (\angle FAH + \angle AFH) = \angle AHF$

$\angle AHB = \angle AHF$ ・・・

, , により1辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$ABH \cong AFH$

$AB = AF$

同様にして, $ABH \cong BEH$ となり, $AB = BE$

$BEH \cong FEH$ となり, $BE = EF$

以上より, 4つの辺の長さが等しいので

四角形ABEFはひし形になる

[問題]

次の(ア), (イ)にあてはまるものを, 下の1~4から, それぞれ1つ選び, 記号で答えよ。

四角形ABCDは, ABとDCが平行で(ア)のとき, 平行四角形であり, さらに, 平行四角形ABCDは, (イ)のとき, 長方形である。

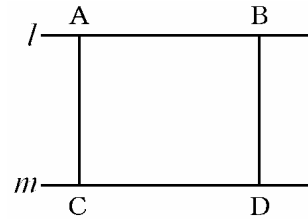
1 $AD = BC$ 2 $AB = DC$ 3 $AB = AD$ 4 $\angle A = \angle B$

[解答]ア 2, イ 4

【】 平行線と面積（底辺を共有）

[問題]

2直線 l, m が平行であるとき、 l 上の2点 A, B から m にひいた垂線を AC, BD とすると、 $AC = BD$ である。このことを証明せよ。



[解答]

仮定より、 $\angle ACD = 90^\circ$

$\angle BDC = 90^\circ$ なので、

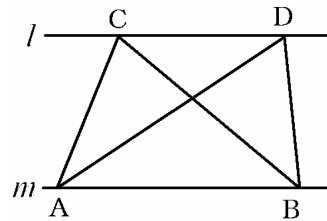
CD の延長上に点 E をとると、 $\angle BDE = 90^\circ$

$\angle ACD = \angle BDE$ で同位角が等しいので、 $AC \parallel BD$

また、 $l \parallel m$ なので四角形 $ABCD$ は平行四辺形となり、 $AC = BD$

[問題]

次の図で、2直線 l, m が平行であるとき、 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ の面積が等しくなることを証明せよ。



[解答]

$\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ の底辺をともに AB とすると、底辺の長さは等しい。...

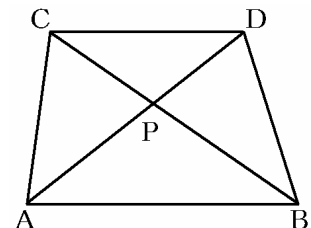
2直線 l, m が平行なので、 C から AB までの距離と D から AB までの距離が等しい。

$\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ の高さが等しい。...

よって $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ の面積は等しい。

[問題]

AB と CD が平行である台形 $ABDC$ で、対角線の交点を P とするとき、 $\triangle APC$ の面積と $\triangle BPD$ の面積が等しくなることを証明せよ。



[解答]略

[問題]

ABCで辺BCに平行な直線をひき、AB、ACと交わる点をそれぞれD、Eとする。このとき、ABEの面積とACDの面積が等しくなることを証明せよ。

[解答]

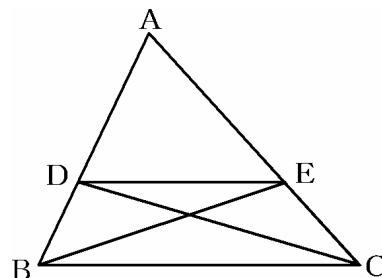
BDEとCDEで底辺をともにDEとすると、
DE // BCなので、高さは同じになる。

よって、 $S_{BDE} = S_{CDE}$ の

$$S_{ABE} = S_{ADE} + S_{BDE},$$

$$S_{ACD} = S_{ADE} + S_{CDE} \text{ なので、}$$

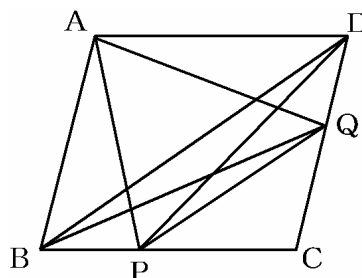
$$S_{ABE} = S_{ACD}$$



[問題]

平行四辺形ABCDの対角線BDに平行な直線が、辺BC、CDと交わる点をそれぞれP、Qとする。ABPと面積の等しい三角形をすべてあげよ。

[解答] DBP, DBQ, DAQ

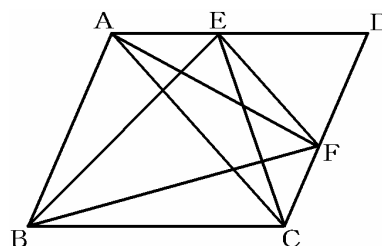


[問題]

平行四辺形ABCDの対角線に平行な直線が辺AD、CDと交わる点を、それぞれE、Fとする。このとき、ABEと面積が等しい三角形が3つあります。この三角形をすべてあげよ。

[解答]

$$ACE, ACF, BCF$$

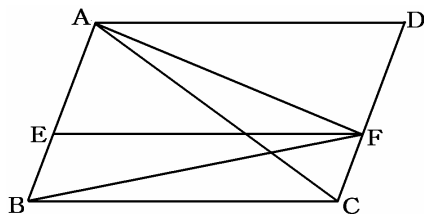


[問題]

次の平行四辺形ABCDで、 $AD \parallel EF$ であるとき、
FCBと面積が等しい三角形を書け。

[解答]

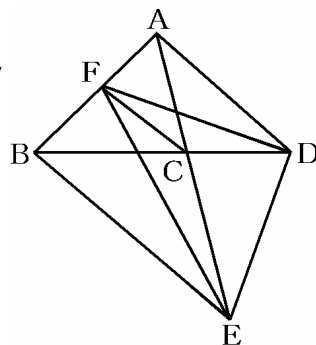
FCA, BEF



[問題]

次の図で、 AD, FC, BE は互いに平行である。このとき、
DEFは ABCの面積の何倍か。

[解答] 2倍

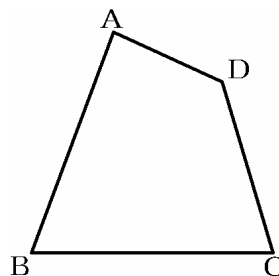
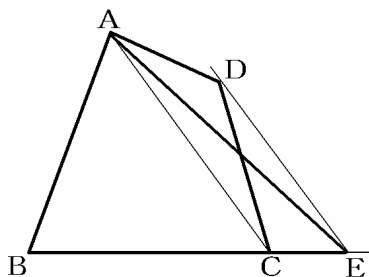


【】等積変形

[問題]

次の四角形ABCDと、面積が等しい三角形 ABEを作図せよ。
(作図に用いた線は、消さずに残しておくこと)

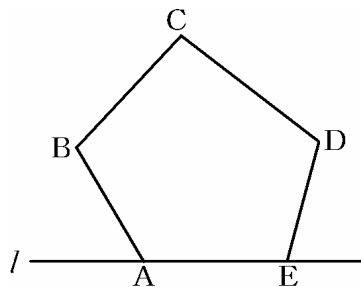
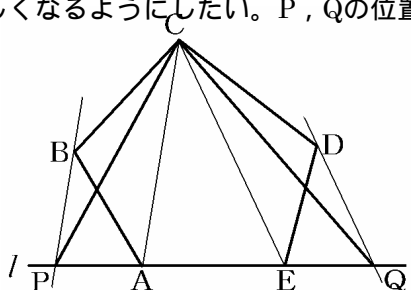
[解答]



[問題]

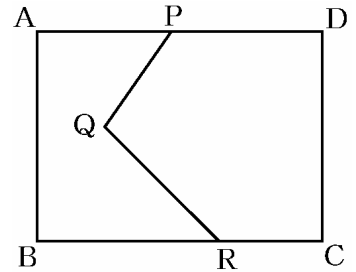
l 上に点P, Qをとって五角形ABCDEの面積と CPQの
面積が等しくなるようにしたい。P, Qの位置を作図によっ
て求めよ。

[解答]

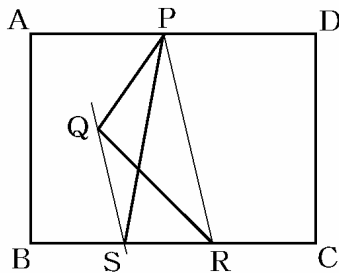


[問題]

次の図のように、長方形ABCDがあり、PQRを境に2つの部分に分けられている。BC上に点Sをとって、2つの部分の面積を変えないでPSを新しい境界線としたい。点Sの位置を作図によって求めよ。

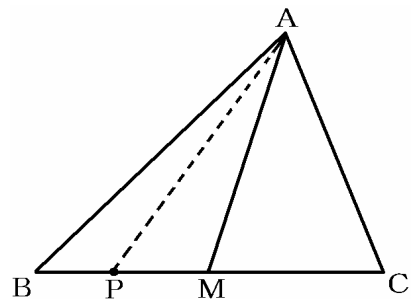


[解答]



[問題]

ABCにおいて、辺BCの中点をM、BM上の点をPとする。辺AC上に点Qをとって、線分PQがABCの面積を2等分するように、解答用紙の図に作図せよ。ただし、作図に用いた線は残し、必要なマークやアルファベットを必ず入れること。



[解答]

